

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)	SDGs									
施策	2. 人権尊重・男女共同参画の推進と多文化共生										

施策で目指す姿

●一人一人が国籍・年齢・性の違い、障害の有無等、多様性を認め合いながら、互いに人権を尊重し、生き生きと輝き暮らせるまちを目指します。
●男女の人権が尊重され、多様な生き方の選択や個性・能力が発揮できる、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指します。
●関係団体と連携した交流事業等を通じて、外国人住民を含め、誰もが個性と能力を生かせる多文化共生のまちを目指します。
●戦争の悲惨さを次世代に語り継いでいくことにより、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めることができるまちを目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 人権教育・啓発の推進	決算額	12,661千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
・市立学校での人権教育をはじめ、講演会やセミナー等を学校、地域、企業で開催し、あらゆる世代、場における人権教育啓発体制の構築につながった。 ・DVや虐待の事案では、相談対応や関係機関との連携、支援者向けの研修の実施等により早期発見、未然防止、被害者支援に資することができた。	・セミナー等の開催日時等を十分に検討し、より多くの市民が学べる機会の提供に努める。 ・補助対象の人権団体との対話に努め、事業及び支出の効率化について意識向上を促す。 ・関係機関との連携により、引き続き相談支援体制の強化を図る。	・研修等の開催日時の設定を早期に行い、参加しやすい環境整備に努める必要がある。 ・職員向けの研修等では、受講者が職場へ共有する機会を設定する。 ・相談対応記録作成におけるDX化を推進し、効率化・省力化を図る。
2. あらゆる分野における男女共同参画の推進	決算額	225千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
・男女共同参画計画年次報告書で、推進状況を可視化することにより庁内の取組強化につなげることができた。 ・幅広い年齢層を対象に研修等を実施し、男女共同参画の基本理念理解の向上につながった。	・男女共同参画計画の推進状況を公表する報告書が長大となり、難解である。 ・セミナー等への参加者数が低調かつ固定化しつつある。	・推進状況について審議会意見等を施策へ効果的に反映させる方法の検討を継続する。
3. 多文化共生の地域づくり	決算額	11,948千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
・青少年海外派遣事業は、アメリカ、マレーシア、韓国及びベトナムに計32人の青少年を派遣したことで、異文化理解の深化と国際性豊かな青少年育成につながった。 ・市国際交流協会と連携し、市民を対象とした「日本語サポーター養成講座」を開催したことで、在住外国人を支援するための機運の醸成と人材の育成に寄与できた。	・青少年海外派遣事業のうち、令和6年度に再開した上海市嘉定区への派遣は、先方の事情により中止となった。 ・マレーシア・セントフランシス学院の受入が、年2回から年1回に変更された。	・青少年海外派遣事業は、広報誌やホームページへの掲載に加え、SNSを活用するなど募集方法の改善に努める。 ・多文化共生への取組みを進めるため、やさしい日本語使用についての理解を深める「日本語サポーター養成講座」を開催するほか、異文化交流に関する事業を引き続き実施する。
4. 平和意識の醸成	決算額	1,008千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
・戦後80年を迎え、戦没者遺族の高齢化により慰霊祭等の参列者が減少していることから、令和7年度は小中学生に加えて、高校生にも参加を呼びかけた。また、学生が献花やメッセージ朗読を行うことで、次世代への継承を図った。 ・慰霊碑保存委員会、遺族会連合会への補助金交付をはじめとする活動支援を行い、平和意識の醸成に資することができた。	・参列者が減少している中で、小中高生に式典へ参列してもらうことにより、平和意識の醸成・継承を図るための取組を継続していく必要がある。	・平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に伝えていくため、若者に対して特攻慰霊祭や戦没者追悼式の目的を伝えるとともに、式典への参加など、地域や学校とも連携した取組を進める。

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
77. 日常的に人権が大事にされていると思う市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		65%	↑	
78. 市が開催する人権に関わる講演・研修会に参加した市民の延べ人数	人権に関する市の講演会・研修会の参加者数の合計(N-1)	7,576人	238.85%	人権の花運動に加え、じんけんフェスタ等の市民向け講演会等の参加者が増加した。
		6,000人	↑	
79. 家庭、職場で男性優遇を感じている市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		35%	↓	
80. 市の審議会等への女性登用率	審議会等委員への女性委員登用状況に係る庁内調査(N-1)	31.2%	15.38%	各委員の選任に際してポジティブ・アクションの例示を行っていることが効果を表してきているものと受け止めている。
		40%	↑	
81. 海外都市との交流事業等に参加した延べ人数	市海外派遣事業の参加者数とホームステイ受入者数の合計(N-1)	78人	78.00%	上海市嘉定区への派遣中止、マレーシア・セントフランシス学院の訪問が年2回から1回になったことにより、前年度を下回る実績となった。
		100人	↑	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
・人権や多文化共生、平和等に関する各催事等を様々な広報手段により周知を図るとともに、参加しやすい環境整備に努めるなど、参加者増につながる取組を推進する。 ・人権や多文化共生等に関する各種課題について学校や各種団体等との連携を深め、若年層への参加を促し、次世代への継承・育成に向けた取組を推進する。

施策幹事課	関係課
市民環境部市民課	総務部総務課 / 市民環境部市民活動推進課 / 保健福祉部地域福祉課 / 保健福祉部障害福祉課 / 教育部学校教育課 / 教育部社会教育課